

一小的校内研修(一人1授業・前期指導主事学校訪問 授業研究会)

算数科の学習

令和4年6月16日(木) 第3校時 1年3組

<单元名> のこりはいくつ ちがいはいくつ

<学習について>

この单元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

減法の意味を理解するとともに、場面を式に表して計算することができる。

この学習は11時間予定で、本時は1時間目です。本時のねらいは次の通りです。

ブロックを操作する活動を通して、減法の意味と式表示を理解することができるようにする。

活動1 本時のめあてをつかみ、残りの数を求める。



水槽の中に5匹の金魚がいます。そのうち2匹の金魚を取り出すと、残りは何匹になるか考えます。

金魚をブロックに置き換えて考えます。手際よくブロックを取り出し、自分で答えを出していました。



活動2 全員でブロックを操作し、引き算の意味を確かめる。



撮影しておいた児童の操作の様子をTV画面に映し、確実に操作できるようにしました。

「ブロックの残りが3個になったので、残りの金魚は3匹です」と、操作と言葉による説明を繰り返します。



活動3 式の表し方を知り、本時のまとめをする。



記号を使った引き算の式の意味を理解できるように、ブロック操作と言葉、式を関連付けて板書しました。

今日の学習の理解を定着させられるよう、ブロック操作を行いながら別の問題を解いていきます。

全員がしっかり引き算の意味を捉えることができました。

